

廃止措置技術研修を実施 大飯 1、2 号機で初

大飯発電所を対象とした原子炉施設廃止措置技術研修を平成 30 年 12 月 4 日に実施しました。今回の研修は、大飯 1、2 号機の廃止措置計画認可申請書が提出されたことを受け、初めて同発電所で開催したものです。

この研修は、原子力発電所での作業経験がある企業を対象に、廃止措置の概要や工程等を理解していただくことを目的として、平成 26 年度から実施しています。

研修では、廃止措置工事の内容や必要となる技術等についての理解を深めていただくため、実際に作業を予定している現場を中心に、アイスコンデンサーなど大飯発電所 1、2 号機特有の設備も見学しました。あわせて、VR（仮想現実）の技術を利用した原子炉建屋内等の見学体験や廃棄物輸送計画書作成の実習なども行うなど、廃止措置工事について一層の理解が得られるよう工夫しました。

受講者からは「廃止措置工程の詳細を理解できた。今後の業務に役立てたい。」「アイスコンデンサーの見学ができ理解が深まった。」などの意見が寄せられました。

<今年度の開催実績>

	日程	見学場所	受講者数
第 1 回	平成 30 年 10 月 12 日	関西電力 美浜発電所	10 名
第 2 回	平成 30 年 11 月 12 日	日本原子力発電 敦賀発電所	12 名
第 3 回 (今回)	平成 30 年 12 月 4 日	関西電力 大飯発電所	20 名



VRを利用した仮想現場体験



施設見学の様子

アジア・アフリカの技術者が原子力の基礎を1ヶ月かけて学ぶ

平成 30 年 11 月 19 日から 12 月 14 日にかけて、国際原子力機関（IAEA）、原子力人材育成ネットワーク、エネ研他との共同で、原子力人材育成研修「原子力発電基盤訓練コース」が東京と福井で開催されました。

この研修は、原子力発電の新規導入や拡大を計画しているアジア・アフリカ等の国において技術者教育を受けた若手人材が対象で、それぞれの国での計画を進めるために必要な知識を習得することを目的に開催され、13 か国から 15 名が参加しました。

研修生は、12 月 3 日から 12 月 10 日までエネ研において、電源・電力系統の設計・運用や、原子力発電所に関する広報の状況、敦賀発電所 3、4 号機の立地場所選定での取組み事例、環境影響評価の基本概念と原子力発電所との関係等、原子力の基礎についての講義を受講しました。また、パソコンを用い加圧水型軽水炉の挙動を把握するシミュレーター体験や、日本原子力発電(株)敦賀発電所、あっとほうむ、美浜原子力緊急事態支援センター等の視察を行いました。

研修生からは、「新しい知識をたくさん得ることができ、この研修に参加してとても良かった。知識を母国に持ち帰り、役立てたい。」といった感想が寄せられました。



講義の様子



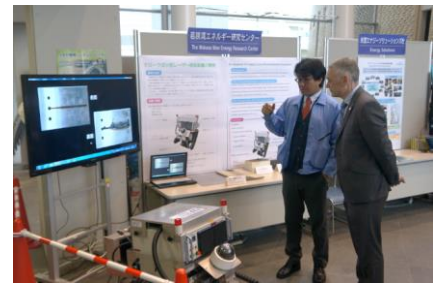
日本原子力発電(株)敦賀発電所見学の様子

原子力のこれからを考える「つるが国際シンポジウム」が開催されました

平成 30 年 11 月 22 日と 23 日の両日、エネ研において、文部科学省主催、福井県・敦賀市共催の「つるが国際シンポジウム 2018—原子力施設のこれから：海外の先進事例から学ぶ—」が開催され、2 日間で延べ約 370 人が参加しました。

このシンポジウムは、国が敦賀エリアに整備する原子力・エネルギーの中核的研究開発拠点において実施する具体的な対応の第一歩であり、国内外の原子力施設の廃止措置への取組み、海外の地域振興の事例等をテーマに、将来の廃止措置について地域とともに考えるという趣旨で開催されました。イギリス、フランス、アメリカ、IAEA や経済協力開発機構の専門家などが、海外での取組みや経験について話しました。また 22 日には、福井大学や福井工業大学の学生が参加し、「学生から見た将来の廃止措置」と題したパネルディスカッションも行われました。

ロビーでは、大学や企業等による廃止措置関係の展示があり、エネ研は、「小型自走式レーザー除染装置」やレーザー切断に関する研究成果を展示・説明しました。

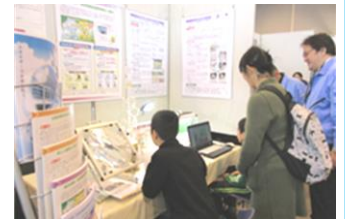


エネ研ブースにおける展示

つるが環境フェア2018へ出展しました

つるが環境フェア 2018「グリーンピクニック」が、平成 30 年 12 月 8 日（土）に敦賀市のきらめきみなと館で開催されました。当イベントは、「自然豊かな敦賀で楽しみながら・健康的に・環境にやさしい日々を過ごしていく」をコンセプトに開催され、3,200 人余りが来場しました。

エネ研のブースでは、海水で育つ塩生植物でイタリア料理やサラダなどの食材として使われているシーアスパラガスを日本で初めて通年栽培することが可能となった栽培設備を研究成果として紹介しました。また、自然エネルギーをより身近に感じてもらうため、太陽光を集光により高温の熱として利用する「太陽炉」や実際に動く水素自動車の模型を展示してエネ研の関連研究も紹介し、子供から大人まで大勢の方に関心を持っていただきました。



エネ研ブースの様子



シーアスパラガス栽培設備

科学機器研修（SEM、EPMA）を実施しました

県内の企業等にエネ研の科学機器を商品開発や製品不良発生時の原因究明に役立てていただくため、11 月 13 日に SEM（走査電子顕微鏡装置）、12 月 11・12 日に EPMA（電子プローブマイクロアナライザー装置）の研修を実施し、各機器に関する基礎知識や操作技能を参加者に修得していただきました。

今後、以下の研修を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

- ・ 1 月 16・17 日：XPS（高分子結合状態解析システム）＝定員到達受付終了
- ・ 2 月 13・14 日：FT-NMR（フーリエ変換核磁気共鳴装置）
- ・ 3 月 12・13 日：試料前処理

研修の申込みや研修内容・詳細については、エネ研企画支援広報部（TEL：0770-24-7273、E-mail：kikakushien@werc.or.jp）までお問合せください。



SEM を使った分析実習



EPMA を使った分析実習

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵 便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail：kikakushien@werc.or.jp TEL：0770-24-7270 FAX：0770-24-7275

